

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
1	地域資源を活用した関係人口創出事業		着地型・滞在型の体制を構築し、リニア中央新幹線営業運転開始後や富士山世界文化遺産ブームが去った後でも、本市を訪れた方等と関係を持ち続け関係人口化するため、現状の集客施設を強化し、まちの賑わいを創出する。								
総合戦略の位置づけ											
道の駅つるを中心とした地域活性化											
事業開始		事業終期									
令和3年4月		令和4年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	集客施設の強化、まちの賑わい創出		23,742,000	23,742,000	11,871,000	11,871,000	道の駅つるの整備事業、「名勝 田原の滝」整備事業、ふるさと納税等PR経費、道の駅つるの整備事業、登山道整備等事業、東柱地域コミュニティセンター整備設計				
2											
3											
4											
5											
合計(円)			23,742,000	23,742,000	11,871,000	11,871,000					
重要事業評価指標 (KPI)			単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	関係人口	人	1,062,169	目標値	35,162.00	100,300.00	108,900.00				244,362.00
				実績値	-305,569.00	311,253.00					5,684.00
2	道の駅つるの来訪者	人	502,305	目標値	40,000.00	45,000.00	50,559.00				135,559.00
				実績値	-160,494.00	36,768.00					-123,726.00
3	支援事業を通じた新商品の開発件数	件	0	目標値	0.00	3.00	4.00				7.00
				実績値	0.00	0.00					0.00
4				目標値							0.00
				実績値							0.00
事業効果	地方創生に非常に効果的であった	ふるさと納税の返礼品等を活用し、市の魅力を市外の方へ発信し、大幅な関係人口の増加ができた。KPIとして設定した観光客数はコロナの影響で達成できなかったが、道の駅つるのレストランテラスの増設により、換気の徹底やソーシャルディスタンスの確保等の三密の回避とあわせて、不足していた席数も確保(5→10に倍増)し、来場者に快適に過ごしていただける環境の整備が推進できた。また、農業振興施策コーディネーターの雇用を継続することにより、地域農家に対する支援体制が構築され、高収益作物(果樹)の生産農家や生産面積が拡大しており、農業振興に寄与する取り組みが着実に前進している。感染防止対策を徹底する中で、モニタリングツアーを実施し、移動観光案内事業も実施することができた。また、都留アルプスハイキングコースの展望台へ、令和3度末に案内板の設置が完了しており、観光振興に寄与する取り組みが推進できた。感染防止対策を徹底する中で、モニタリングツアーを実施し、移動観光案内事業も実施することができた。また、都留アルプスハイキングコースの展望台へ、令和3度末に案内板の設置が完了しており、観光振興に寄与する取り組みが推進できた。									
今後の方針	事業の継続	返礼品出品事業者のPR等について公平性を確保した実施に努める。 農業施策全般に精通した人材を農業振興施策コーディネーターとして迎えることができたが、年齢や今後のライフプラン等のために長く雇用することが難しい状況であり、後継者となりうる人材の発掘が必要である。そのため、県の農業職や農業委員のOB等、適材と推察される人材に対して、働きかけを継続する。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大という当初想定していなかった外部環境の変化が発生したため、今後計画を見直す中で、感染防止対策の徹底を図った観光イベントの開催やマイクロツーリズム等の事業展開を推進していく。									
評価	ふるさと納税のPR事業の成功により関係人口が増加、農業振興に寄与する取り組み、モニタリングツアーを実施し移動観光案内事業も実施するなど、まちの賑わい創出に効果があった。今後も、利用者サービスの向上、集客イベント等の事業展開を推進するとともに、農業施策全般に精通した人材の確保等に期待する。										

NO.		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
2		生涯活躍のまち・つる2.0 インキュベーションコミュニティ構築事業		多様な世代・人材が起業・仕事づくりをテーマに交流し、現役世代の生活を支え、シルバー世代の生きがいとなる仕事を作り出すとともに、担い手の確保・育成を進め、市内への定着が低調な都留文科大学の学生や現役・子育て世代をはじめとした全世帯の定着・定住を図る。						
総合戦略の位置づけ										
生涯活躍のまち・つる事業の推進										
事業開始		事業終期								
令和3年4月		令和4年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	生涯活躍のまち・つる2.0 インキュベーションコミュニティ構築事業	44,516,360	44,516,360	22,250,008	22,266,352	【ソフト事業】 ちょこっとおしごとマッチングシステム構築及び運営業務委託費、起業家育成及びキャリア形成支援アドバイザー事業運営業務委託費、生涯活躍のまち・つるビジネスプランコンテスト運営業務費補助金、二地域居住者及びプロボノ人材確保事業 【ハード事業】 カーシェアリングによるシェアリングエコノミー構築事業				
2										
3										
4										
5										
合計(円)		44,516,360	44,516,360	22,250,008	22,266,352					
重要事業評価指標 (KPI)		単位	事業開始前	KPI	R3	R4	R5	R6	R7	増加分累計
1	本事業を通じて起業した事業者数	件	0	目標値 実績値	0.00 3.00	1.00	1.00	0.00	0.00	2.00 3.00
2	都留文科大学の学生の卒業後の都留市への定着率	%	1	目標値 実績値	0.00 1.00	2.00	0.70	0.00	0.00	2.70 1.00
3	本事業の実施により増加した移住者(テレワーカー、2拠点居住含む)	人	0	目標値 実績値	5.00 18.00	5.00	5.00	0.00	0.00	15.00 18.00
4				目標値 実績値						0.00 0.00
事業効果	地方創生に非常に効果的だった	本事業実施により、起業家数・移住者数ともに増加した。								
今後の方針	事業を継続する	移住者を含めた外部の人材を積極的に活用し、組織運用に関与。 各種事業の担い手が不足しているため、市内在住の学生などを積極的に活用し、組織運営の担い手として積極的に活用していく。 各種イベント等の実施に当たっては積極的に民間企業などに働きかけ、協賛金の依頼を行い運営する。また、ふるさと納税の納税促進の支援等、自主事業を実施し、資金を確保する体制を確立した。								
評価	生涯活躍のまち・つるのブランディングが確立されつつあり、起業家数・移住者数が増えている。今後は、本事業を通じ、市内企業と都留文科大学学生の接点をつくり就業先として意識付けを行うことに期待する。									

NO.		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
3		住民相互のまちづくりへの意識醸成事業		地域の住民、移住者相互の交流を図り、地域の防犯機能強化のため安全・安心ステーションを設置し、地域防犯指導員による安全・安心のまちづくりのための講習会を開催することによりまちづくりの機運醸成を図る。またボランティアへの斡旋を図ることと同時に、本市の中心市街地に立地する施設の特徴を生かし、観光案内機能も兼ね備え、市外の観光客も気軽に訪れる場の創出を図る。						
総合戦略の位置づけ										
安心・安全のまち「セーフコミュニティ」の推進										
事業開始		事業終期								
令和2年4月		令和3年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備事業	30,558,000	30,558,000	15,279,000	15,279,000	設計・監理業務委託、建設工事				
2	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備に伴う備品及び消耗品購入等	1,305,982	1,305,982	652,991	652,991	備品、消耗品、Wi-Fi整備				
3										
4										
5										
合計（円）		31,863,982	31,863,982	15,931,991	15,931,991					
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	施設利用者数	人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	1,500.00 138.00	250.00	300.00	400.00	2,450.00 138.00
2	施設でのまちづくり講習会参加者数	人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	100.00 0.00	10.00	20.00	30.00	160.00 0.00
3	事業を通じたボランティア数	人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	3.00 0.00	3.00	4.00	4.00	14.00 0.00
4				目標値 実績値	0.00 0.00					0.00 0.00
事業効果	地方創生に効果があった	KPIは芳しくなかったものの、利用が少しずつ周知されてきており、本市セーフコミュニティの活動や、ふるさと時代祭りの本部として利用されてきている。								
今後の方針	事業の継続	新型コロナウイルス感染症などの感染拡大により、施設の利用者が想定より少なかった。現状でも自治会等に、利用促進を呼びかけているが、今後も精力的に各団体に呼びかけを行う。								
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は目標値を達成していないが、利用者が増加傾向にあり、セーフコミュニティの活動で利用されるなど、安心・安全への関心を持つ住民の増加に寄与している。今後は、まちづくり講習会の開催と講習会を通じたボランティアの増加により、安心・安全なまちづくりに取り組む地域住民の活躍の場を創出することを期待する。									

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
4	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備は、都留文科大学に隣接する遊休地（約10,000㎡）に整備し、拠点内にはコワーキングスペースや職業紹介所機能（仕事面）、子育て関連施設（若者世代）、移住のワンストップ窓口（移住相談）の機能を有するとともに、多くの方が気軽に立ち寄れるようカフェレストランや物販コーナーなども設け、生活全般を通じた多世代の交流を推進する。 また、このエリアには都留文科大学の留学生用学生寮の計画もあるため、交流拠点での交流を通じて各国の文化や習慣など、国際交流・多文化交流のソフト事業を展開することも可能となる。このように、学生、高齢者、子どもを含めた子育て世代などが集まることで、世代や国籍をも超えた「ごちゃまぜ」コミュニティを形成し、全員が生涯にわたって活躍できる受け皿と地域共生型による「全世代・多文化共生の場」の創出を目的とする。								
総合戦略の位置づけ											
生涯活躍のまち・つる事業の推進											
事業開始		事業終期									
令和3年4月		令和5年1月20日									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		177,114,865	177,114,865	88,557,432	88,557,433	施設建設費、用地造成				
2											
3											
4											
5											
合計（円）			177,114,865	177,114,865	88,557,432	88,557,433					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	本事業を通じた移住者数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	30.00 0.00	40.00 0.00	70.00 0.00
2	本施設のコワーキングスペースの利用者数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	525.00 0.00	840.00 0.00	1,365.00 0.00
3	本事業の職業紹介を通じた就職者数		%	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	10.00 0.00
4	都留文科大学の学生の卒業後の都留市への定着率				目標値 実績値	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.70 0.00	1.00 0.00	1.70 0.00
事業効果			効果の有無はまだわからない	供用開始前のため測定不可能							
今後の方針											
評価											

NO.	交付金対象事業名称	事業目的・概要								
5	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）整備計画	<p>【概要】 都留市より都留文科大学（公共的団体）へ出資する旧山梨県南都留合同庁舎の建物を全面的に模様替えし、大学の新棟（仮称）を整備する。</p> <p>【目的】 カフェcommonsやラーニングcommonsとして設置されたスペースの利用による学修環境の向上、共用空間を地域住民にも開放することにより、施設の充足をはかることで、大学間競争での競争力を高め、入学志願者数を増加させることを目的とする。</p>								
総合戦略の位置づけ										
生涯活躍のまち・つる事業の推進 「教育首都つる」のさらなる発展										
事業開始	事業終期									
令和3年4月	令和4年3月									
実施事業名		総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）整備計画	610,659,060	610,659,060	304,914,390	305,744,670	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）の整備				
2										
3										
4										
5										
合計（円）										
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R3	R4	R5	R6	R7	増加分累計
1	都留文科大学入学志願者数	人	4721	目標値 実績値	10.00 10.00	20.00	50.00	50.00	50.00	180.00 10.00
2	本施設で開催したビジネスコンテストの都留文科大学学生による提案数	件	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	5.00	2.00	3.00	10.00 0.00
3	本施設の利用者数	人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	16,000.00	2,000.00	2,000.00	20,000.00 0.00
4				目標値 実績値	0.00 0.00					0.00 0.00
事業効果	事業の効果はまだ分からない	施設の供給開始前であるため								
今後の方針										
評価										

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
6	都留市テニスコート整備計画		<p>【概要】 テニスコート利用者が安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図るための休憩・交流スペースを整備する。また、施設にテニスコートの市外利用者に対する観光案内や移住定住、ふるさと納税などの情報を提供し、今後も本市との関係を築く体制を整備する。</p> <p>【目的】 本施設を整備することにより、テニスコート利用者が、一年を通じて安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図る空間が整備され好循環が生まれ課題解決に寄与する。また、本市の目指すべき将来像であるだれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指すとともに、利用促進を図ることにより収益を確保し、ポストコロナに向けた経済の好循環を図ることを目的とする。</p>								
総合戦略の位置づけ											
「教育首都つる」のさらなる発展											
事業開始		事業終期									
令和3年4月		令和4年2月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	都留市テニスコート整備計画		14,672,900	14,672,900	7,336,450	7,336,450	テニスコート休憩施設の整備				
2											
3											
4											
5											
合計(円)											
重要事業評価指標 (KPI)			単位	事業開始前	KPI	R3	R4	R5	R6	R7	増加分累計
1	テニスコート年間利用者数		人	9,558	目標値	300.00	400.00	500.00	600.00	700.00	2,500.00
					実績値	-1,101.00					-1,101.00
2	テニスコート年間利用料		円	538,930	目標値	15,000.00	20,000.00	25,000.00	30,000.00	35,000.00	125,000.00
					実績値	-89,647.00					-89,647.00
3					目標値						0.00
					実績値						0.00
4					目標値						0.00
					実績値						0.00
事業効果	効果の有無はまだ分からない										
今後の方針	事業の継続		新型コロナウイルス感染症の影響により、市外利用者が減少し、利用料金収入が減少している。コロナウイルスの影響縮小に伴い、西桂町など市外利用の拡大に向けて、PRしていく。								
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者、利用料金共に減少している。今後、感染予防対策、情報発信により利用者を拡大し、ポストコロナでの安心・安全な活動と利用者相互の交流の場になり、生涯スポーツ社会の実現に寄与することを期待する。										

NO.		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
7		都留市宝の山ふれあいの里ターゲットバードゴルフ場整備計画		<p>【概要】 ターゲットバードゴルフ場の利用者が安全・安心にスポーツができ、生きがいの創出を図り、情報交換など相互の交流を図るための休憩スペースを整備する。</p> <p>また、施設にターゲットバードゴルフ場の市外利用者に対する観光案内や移住定住、ふるさと納税などの情報を提供し、今後も本市との関係を築く体制を整備する。</p> <p>【目的】 ターゲットバードゴルフ場利用者に対し、安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図る空間を整備し、生きがいを創出するとともに、利用促進を図ることにより収益を確保し、ポストコロナに向けた経済の好循環を図ることを目的とする。</p>						
総合戦略の位置づけ				<p>「教育首都つる」のさらなる発展</p>						
事業開始		事業終期								
令和3年4月		令和4年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	都留市宝の山ふれあいの里ターゲットバードゴルフ場整備計画	5,027,000	5,027,000	2,299,000	2,728,000	ターゲットバードゴルフ場休憩施設の整備				
2										
3										
4										
5										
合計 (円)		5,027,000	5,027,000	2,299,000	2,728,000					
重要事業評価指標 (KPI)		単位	事業開始前	KPI	R3	R4	R5	R6	R7	増加分累計
1	ターゲットバードゴルフ場年間利用者数	人	4,061	目標値	100.00	100.00				200.00
				実績値	-1,676.00					-1,676.00
2	ターゲットバードゴルフ場利用料	円	403,310	目標値	10,000.00	10,000.00				20,000.00
				実績値	-138,480.00					-138,480.00
3				目標値						0.00
				実績値						0.00
4				目標値						0.00
				実績値						0.00
事業効果	効果の有無はまだ分からない									
今後の方針	事業の継続		コロナウィルスの影響により、利用者が減少しているため、利用者に安心安全をPRするとともに、観光情報の発信など、利用者の拡大に努める。							
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数、利用料共に大幅な減少となっている。今後、感染予防や観光情報の発信に務めて、アフターコロナでの安心・安全な活動と利用者拡大に寄与することを期待する。									